

ヤマザキマザックオプトニクス(株)フェニックス研究所が 国土交通大臣賞を受賞

ヤマザキマザック(株)(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)のグループ会社ヤマザキマザックオプトニクス(株)フェニックス研究所(以下オプトニクスフェニックス研究所)が、このたび国土交通省の外郭団体である財団法人都市みらい推進機構が主宰する「平成20年度土地活用モデル大賞」において、最高位の「国土交通大臣賞」を受賞し、10月30日に東京霞ヶ関ビルにて表彰式が行なわれた。この賞は、財団法人都市みらい推進機構が主催し、国土交通省が後援する、土地の有効活用、周辺地区との調和、環境改善への寄与などを総合評価して与えられる賞で、CO2の削減、土地の有効活用、景観調整への努力が認められた。ヤマザキマザックオプトニクス(株)(社長:山崎恒彦 住所:岐阜県美濃加茂市、TEL:0574-28-2123)は、ヤマザキマザック(株)のグループの一つとして、レーザ加工機の開発・製造を担当し、本年始めに新たにレーザ加工機組立用のオプトニクスフェニックス研究所(地下工場)を美濃加茂市に稼働させた。

受賞プロジェクト(オプトニクスフェニックス研究所)の特徴

【オプトニクスフェニックス研究所(地下工場)の目的】

工場の密閉性を高め、工場内部の空気のクリーン度を格段に上げることで、高性能なミラーやレンズを汚すことなく、短時間でレーザ加工機の組立を行なうことである。

【オプトニクスフェニックス研究所(地下工場)の特徴】

- 1) クリーン化により超高精度(特に光学系)な機械の組立が可能。
- 2) 地熱を利用し、夏場工場内温度28℃以下、冬場18℃以上に温度管理。
- 3) 地表面の振動の影響が少なく、ミラーの様な超高精度な部品の製作に最適。
- 4) 建蔽率が100%となり土地利用効率が最大となり、投資効果が飛躍的に向上。
- 5) 大型エアコンが不要で、消費電力とそのメンテナンス費がほとんど不要。

お問合せ先: ヤマザキマザック株式会社 マーケティング部広報企画課
TEL:0587-95-1144 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください。